会報

秋

No.163

2013.10

一般社団法人北海道電業協会

会　報
2013.10
No.163

目　　次

より安全で環境に配慮した公共建築物の整備
……………………………………………北海道建設部建築局建築整備課
設備・環境担当課長　安　藤　　　弘… 1
法人職務執行者就任ご挨拶
………………………………㈱関電工北海道支店　支店長　太刀川　雅　弘… 2
…サンワコムシスエンジニアリング㈱北海道支店　支店長　大　竹　央　典… 2
平成25年度北海道の建築工事に係る合同研修会…………………………………… 3
平成25年度札幌市電気設備施工研修会……………………………………………… 4
１級電気工事施工管理技術検定実地試験受験準備講習会……………………… 5
技術系学校先生との現場見学会・懇談会………………………………………… 6
技術系学校生徒との現場見学会……………………………………………………… 7
ーシリーズー　１／212だより
・かかしのふる里～共和町
…………………………………………………共和町長　山　本　栄　二… 8 ～ 9
・クリーン・グリーン輝く未来・笑顔あふれるまち～中富良野町
…………………………………………中富良野町長　木　佐　剛　三…10～11
現場からこんにちは……………………………………………………………………12
電気設備施設見学会……………………………………………………………………13
厚生委員会行事報告
平成25年度野球部会活動報告……………………………………………………14～15
平成25年度第１回・第２回開催ボウリング部会報告……………………16～17
平成25年度第３回・第４回ゴルフ部会コンペ成績……………………………18
ーシリーズー「私のいちおし」
三共電気工業㈱
代表取締役社長　萩　本　哲　夫……………………………………19
ーシリーズー「ビジネスマンはこれを読め！」
㈱久住書房
社長　久　住　邦　晴…………………………………………20
業界だより、理事会・委員会報告…………………………………………21～22
事務局日誌……………………………………………………………………………23
編集後記

より安全で環境に配慮した公共建築物の整備

北海道建設部建築局建築整備課
設備・環境担当課長　安　藤　　弘

日頃から、(一社) 北海道電業協会の皆様には北海道の営繕行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は今年４月に設備・環境担当課長に就任しました安藤と申します。

中標津空港管理事務所、総務部総務課と異動を重ね５年振りの建築整備課勤務となります。

着任後、はや半年が過ぎようとしておりますが、建築局の発注も年度末に発注予定の債務負担工事を含め、数本を残すのみとなっております。

震災の復興や消費税のアップによる駆け込み需要に起因すると思われる入札不調等もありましたが、電気設備においては概ね順調に推移して来ております。

また、今年度の一連の入札において、入札参加者の減少や、不調・不落の状況を見る限り、公共工事の減少による業界規模の縮小が、想像以上に進んでいることを実感したところであります。

さて、東日本大震災以降、建物の耐震性や津波対策など、安全性に対する要求は一層大きくなってきており、建築局においても不特定多数の道民が利用する道有施設は、災害時における避難や応急活動の場であり、かつ一定水準の行政を継続するための拠点となることから、災害に強い施設の建設のため、「道有施設の安全性の確保」に向けた取り組みを一層推進することを目標に掲げております。

また、近年では太陽光発電やLED照明が注目されておりますが、昨年３月に策定した「公共建築物ECO整備推進方針」の中でも、建築物ライフサイクルの各段階において環境負荷の低減を図ることとしており、その中には再生可能エネルギーの採用の検討、総合環境性能評価の導入、工事現場におけるECOの取組等に対する工事施行成績での評価など、環境に対する取組を今年度の重点項目として掲げているところです。

建築局としましては、技術と経営に努力されている企業の皆様が今後とも地域ニーズに対応できるよう、分離発注の継続や総合評価入札制度の導入など、様々な取り組みを引続き行って参りますので、社会活動のライフラインを担っている貴協会が、その役割を十分に果たされますことを期待し、貴協会のますますのご発展と会員皆様のご活躍を心から祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

法人職務執行者就任ご挨拶

㈱関電工北海道支店
支店長
太刀川　雅　弘

日ごと秋も深まってまいりましたが、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、前支店長樋口雄一の後任として７月１日付で北海道支店長に就任いたしました太刀川雅弘でございます。なお、前支店長の樋口雄一は今後も引き続き弊社の北海道支店の営業推進役として在任しておりますので併せよろしくお願い申し上げます。

平素は、当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり紙面をお借りいたしまして心より厚く御礼申し上げます。また皆様のご指導、ご鞭撻を頂きながら、協会、業界の発展・繁栄に最善を尽くす所存でございますので、前任者同様どうぞよろしくお願い申し上げます。

当社は、昭和19年設立以来、地域社会との共存共栄を目指す総合設備企業として、積極的な事業活動を展開してまいりました。

昭和45年に札幌支社を開設以来、現在では、札幌の北海道支店を中心に千歳・帯広・函館に営業所を配置し活動いたしております。

さて、私は入社以来、本社、多摩、栃木と関東地方を中心に業務をしてまいりました。また出身は新潟県小千谷市という雪深い地方で、雪に関しては多少免疫がありますが北海道の冬の寒さは比べ物にならないのでしょう。

北海道は景気回復の兆しはあるものの本格的な景気回復はまだまだ先ではないかと感じております。こうした中、総合設備企業として地域の皆様方、地方自治体、そして企業の皆様の発展に貢献するよう最大限努力してまいる所存であります。重ねてよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健康を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます

サンワコムシスエンジニアリング㈱
北海道支店　支店長
大　竹　央　典

秋冷の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、前支店長宮井直樹の後任として北海道支店長に就任いたしました大竹央典（おおたけひさのり）でございます。

平素より、当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚く御礼申し上げます。若輩者ではありますが、会員の皆様のご指導を頂きながら、当協会及び業界各位の発展に微力ながら最善を尽くす所存でありますので、前任者同様宜しくお願い致します。

当社は昭和22年９月に電気と通信工事の総合会社として三和電氣興業㈱を創立し、昭和43年７月大榮通信工業㈱と合併、三和大榮電気興業㈱と商号変更し、平成８年４月には㈱三和エレックに商号変更を行っております。平成15年９月には、日本コムシス株式会社及び東日本システム建設株式会社との３社共同の株式移転による純粋持株会社『コムシスホールディングス株式会社』設立、その後の平成17年４月コムシスホールディングス傘下の事業再編により、商号をサンワコムシスエンジニアリング㈱に変更して、ここ北海道においても新たなスタートを切り現在に至っております。

現在の主な事業は、通信キャリア系事業、メーカー・ベンダー関連事業、ICT事業及び通信・電気等コンストラクション事業を展開しております。

昨今、日本経済は少し明りが差してきたように見えますが、我々を取り巻く道内の環境は、経済の停滞、雇用の伸び悩みなど、まだ厳しい状況でありますが、希望を持ち前向きに事業を進めて行くことで、協会の発展に微力ながら貢献してまいる所存であります。皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

最後になりますが、当協会の益々の発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせて頂きます。

平成25年度　北海道の建築工事に係る合同研修会

当協会と北海道電気工事業工業組合、㈳北海道空調衛生工事業協会、北海道管工事業協同組合連合会との４団体共催で、平成25年７月22日㈪北海道電気会館において、北海道建設部建築局幹部の方々のご出席を頂き「平成25年度北海道の建築工事に係る合同研修会」を開催し、全道から４団体役員等、約100名が出席した。

最初に主催者を代表して空衛協会の池田会長から、業界を取り巻く厳しい環境を説明。今後の取り組みとして「地球環境問題への対応や技術力強化に努め、次代につながる公共設備の整備に尽力しなければならない」と挨拶された。

続いて、安藤弘課長から「建築局では多様なニーズや地域特性に対応するとともに、建物の長寿命化や環境への配慮等を目標に取り組んでいる。厳しい経済情勢にあるが、今度とも快適な建物づくりを通じて地域の活性化と業界の発展のため、それぞれの分野で力を発揮していただきたい」と挨拶された。

引き続き、各事業担当者から道の取組み状況など、資料に基づき説明された。

営繕工事での総合評価方式改正点については、地域を支える建設業者を評価するための新たな仕組みや、技術能力を適切に評価するために見直した項目などを詳しく解説された。また、今年度から道庁本庁舎の耐震改修や札幌医大の施設整備など大規模施設整備に向け、建築局に大規模施設担当組織を配置し、その役割について説明された。

ご挨拶　安藤弘　設備・環境担当課長

研修会次第

１．開会挨拶（㈳）北海道空調衛生工事業協会
　会長　池田　　薫

２．ご挨拶　北海道建設部建築局建築整備課
　設備・環境担当課長　安藤　　弘　様

３．研修内容

⑴総合評価方式について
　計画管理課営繕企画Ｇ　主査　菅原　　誠　様

⑵平成24年度工事評定結果について
　建築整備課機械設備Ｇ　主査　杉山　裕一　様

⑶質疑応答

４．閉会挨拶（㈳）北海道電業協会
　会長　大房　孝宏

北海道建設部幹部の皆さん

平成25年度　札幌市電気設備施工研修会

平成25年７月24日㈬午後１時30分から北海道電気会館において、当協会と（一社）札幌電設業協会共催による「札幌市電気設備施工研修会」を開催し、現場責任者など約150名が参加した。今回で30回目となるこの研修会は、札幌市から講師をお招きし、施工上の留意点や事前に提出していた質問・要望事項について説明された。

冒頭、当協会の小川孝樹専務理事から「原発停止の影響で、電力の安定供給に向けて予断を許さない状況だが、電力供給を支える電気技術者の責任は重大である。そのためにも本日の研修内容を理解して現場に生かしてほしい」と挨拶された。

札幌市建築部の曽我英一電気設備課長から、最近の話題として、７月18日現在の発注状況について、63件が公告済みで、本年度当初の110件に対し６割弱を執行したと説明。その後、８月下旬から９月にかけて東雁来団地や下野幌団地関連が発注になるほか、円山動物園アフリカゾーンの関連も８月末をめどに準備を進めていると説明された。

同課の高松静知電気一係長から、施工上の留意事項として「工事成績が65点を下回った場合、その後の工事で臨時技術検査の対象として厳しい指導を受けることになるので、十分注意して施工管理にあたるように」と呼びかけられた。

各社が事前に提出していた質問・要望の17項目については、電気設備課と工事管理室が分担して回答された。

曽我英一　電気設備課長

最後に（一社）札幌電設業会の小林勇治技術安全委員長から閉会の挨拶があり終了した。

【研修内容】

１．札幌市発注電気設備工事に関する講話
２．市発注工事に関する留意事項について
３．会員からの質問・要望事項に関する回答
４．電気設備工事の成績評定結果
５．社会保険加入に関する下請指導ガイドライン

【講　師】

札幌市都市局建築部電気設備課

課　長　曽我　英一　様
電気一係長　高松　静知　様
電気二係長　太田　雅之　様

札幌市財政局管財部工事管理室

電気検査担当係長　山本　裕之　様
〃　堀江　誠　様

１級電気工事施工管理技術検定実地試験受験準備講習会

平成25年９月２日㈪札幌市北区のセントラル札幌北ビルにおいて（一社）日本電設工業協会北海道支部と（一財）地域開発研究所との共催による受験準備講習会を開催した。

この日の講習会には、学科試験に合格した79名が受講し、施工管理技士の資格取得に向けて、講師が説明する過去の出題傾向から、実際に記述するうえでの注意事項について勉強した。

本試験は10月20日㈰に行われ、合格発表は来年２月７日の予定。同試験に合格すると、１級電気工事施工管理技士の資格が得られ、建設業法に定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場に置く監理技術者として認められ、建設業法に基づく経営事項審査において、資格者一人あたり５点が配点され、公共工事を受注する際の企業の技術力として評価されるなど重要な資格です。

会場では受講生が事前に購入していた「実地試験問題解説集」と、当日配布された過去の出題傾向と問題項目の資料をもとに熱のこもった講義が行われた。講師から、昨年の合格率は62.6％（１級実地全国平均）で、年々試験が難しくなっている現状説明があり、特に配点が高い施工経験記述では、具体的な現場経験の有無が問われるので、本人が実際に経験した工事をそのまま書くこと。文章が不得手な人は箇条書きがよい。などのアドバイスがあった。また、今年度の問題を予測するのは難しいが、労働災害、工程管理、施工管理、に関する解答を予め準備しておくこと。文章の構成も主語、述語の基本的な使い方など、日頃から簡潔にまとめるよう訓練が必要である。などを注意喚起して丸一日の講習会を終了した。

講習プログラム

時間	科目	講師
９：20～12：10	電気設備全般 法規	一般財団法人　地域開発研究所 専任講師　山端　良幸
12：10～13：00	昼休み	
13：00～16：40	施工管理 施工経験記述指導	大成建設株式会社　札幌支店 札幌中央ＣＳセンター 設備次長　小林　由嗣

技術系学校先生との現場見学会・懇談会

平成25年７月26日㈮当協会並びに（一社）日本電設工業会北海道支部共催による技術系学校先生との現場見学会・懇談会を開催した。

電業協会と技術系学校相互の現状認識の把握と業界への意見、要望を聞くため毎年行っている。

今回は専門学校２校、高校６校から８名の先生が出席。協会からは中野副会長をはじめ７名が出席した。

今回の見学現場は、札幌競馬場スタンド改修その他工事建設現場で、工期は平成24年11月～平成26年７月末。札幌競馬場の広大な敷地面積421,057.7㎡に建築面積19,616.5㎡、延べ床面積面積41,716.2㎡、地下１階、地上６階、塔屋１階の規模で、７月末現在では既存建屋解体された後に躯体工事が始まっていた。

当日は、札幌競馬場の東駐車場に隣接している現場事務所に集合し、見学前に清水建設㈱北海道支店札幌競馬場スタンド改修その他工事建設所の佐々木俊也所長から「競馬場からKEIBA PARKへ」をキャッチフレーズに作成された子供から大人まで幅広い年齢層が楽しめる完成をイメージしたビデオで概要の説明があり、次に、㈱関電工北海道支店の斉藤和則営業部長から工事の進捗状況などの説明後、現場へ向かった。

見学会終了後、札幌グランドホテルの会議室において懇談会を実施した。開会にあたり中野副会長から、最近の建設業界を取り巻く厳しい環境や団塊世代の大量退職といった現状を説明。今後は地球温暖化に対応するため「省エネルギー・新エネルギー需要や既存設備のリニューアルなどの急拡大が予想されるので、これら新たなビジネスチャンスに対応するため、人材確保や育成は業界として重要である。これからも優秀な人材を当協会に送り込んでいただきたい」と挨拶された。

懇談に入り、協会から主な事業内容を説明。続いて道内の技術系学校を対象に毎年調査している「平成25年３月卒業生の就職状況」及び「平成25年度技術安全基礎教育講習会」の実施結果を報告。さらに、今年６月に調査した「インターンシップ実施企業調査結果」についての報告と今年度の当協会会員企業の実施計画を説明した。

学校側からは「資格を持っていても、なかなか就職に結びつかず、電気の生徒でありながら電気関係の仕事に就ける機会が少ない」「道内企業からの求人票が出るのが遅い」「就職は道内志向が強く、優秀な人材を道内に残したいが、道内企業の求人が少ないため道外企業に就職してしまう」などの意見要望があった。

当日の参加校、日本工学院北海道専門学校、
北海道職業能力開発大学校、旭川工業高等学校、
富良野緑峰高等学校、美唄尚栄高等学校、
札幌工業高等学校、札幌琴似工業高等学校、
函館工業高等学校。

技術系学校生徒との現場見学会

平成25年８月１日㈭当協会並びに（一社）日本電設工業会北海道支部共催による技術系学校生徒との現場見学会を開催した。当日の参加者は北海道職業能力開発大学校、札幌科学技術専門学校、札幌工業高校、札幌琴似工業高校の先生４名、学生17名が参加した。

今回の見学現場は平成26年10月に営業運転開始に向けて工事を進めている北海道電力㈱京極水力発電所建設現場です。当施設は、札幌から西へ約70㎞の距離にある虻田郡京極町北部の台地にプール形式の上部調整池と京極町を流れる尻別川水系ペーペナイ川上流部に京極ダムを建設し、上部調整池から京極ダムまでの総落差約400mを利用して最大60万kwの発電を行う、北海道で初めての純揚水式発電所です。

揚水発電の特徴は、電気の使用量が少なく、発電設備に余裕ができる夜間に下部調整池から上部調整池に水をくみ上げておき、使用量が多い昼間に上部調整池から水を落として発電する方式です。貯蔵できない電気を「水」という形に変えて貯蔵することができ、また、発電機を短時間で起動できるため、急激な電気の使用量変化に素早く対応できるという優れた特性を持っている発電所です。

当日は10時に協会前を出発し約２時間かけて京極町に到着。その間、車中で事務局から用意していた資料に基づき事業案内や資格取得について等の概要説明があった。つづいて、日本電設協会が作成した、電気設備工事の最前線で奮闘を続ける若者達を追ったヒューマンドキュメンタリーDVD「明日への挑戦」を放映。昼食後、13時に京極水力発電所建設所に到着。そこから当建設所の桝谷直樹総務課長と電気第二課の岩越雄二副長が同乗し発電所の概要や現在までの進捗状況などの説明があり、最初の見学場所の発電所本館に向かった。そこは、地下式になっていて、高さ45.8m、幅24m、長さ141mの広大な空間に発電用設備が据え付けられていた。次の見学場所は、下部調整池の京極ダムで、展望台から大型ダンプがひっきりなしに土砂を運んでいる様子が見られた。完成すると総貯水容量は5,546千㎥になり、札幌ドームの約3.5倍になる。京極ダム展望台での説明を最後に見学会を終了した。

帰りのバスの中で今回の見学会に参加した感想などを「参加レポート」に記入して提出してもらった。同行された先生からは、学校の授業では体験できない現場の最先端設備に触れる事ができて大変勉強になった。学生たちにとっては大変有意義なので今後も継続して欲しいと要望された。

生徒から提出されたレポートから「普段見る機会のないところを見ることができ良い経験ができた」「現場の雰囲気を味わうことができ、これから就職していくうえで貴重な経験になった」「電気は生活に欠かせないもので、それを管理する大切な仕事である」などの感想があった。

かかしのふる里～共和町

共和町長　山　本　栄　二

ホームページ　http://www.town.kyowa.hokkaido.jp/　（神仙沼の紅葉）

【まちの概要】

後志地方のほぼ中央に位置し、三方が山に囲まれ西部が日本海に開けていることから、夏は温暖で比較的雨量が多く、冬は北西の季節風が強く山麓に近づくにつれ深雪となっていきます。一方で四月以降の気温上昇は早く、夏期は高温で農業に適した気候になっています。秀峰ワイスホルンの裾野には田園風景が広がり、「共和米」「らいでんスイカ」「らいでんメロン」の産地としても知られています。

共和町の歴史は、1857年（安政４）年に徳川幕府による御手作場の開設にはじまったとされており、1880（明治13）年頃から入植が続き、畑作を中心に開拓が進められました。

その後、1906（明治39）年に発足村と前田村、1909（明治42）年には小澤村が二級村となり、1955年（昭和30）年にこの３村が合併して共和村が誕生。1971（昭和46）年に町制が施行され、共和町となりました。

航空写真（羊蹄山を望む）

【共和かかし祭】

今年で33回目を迎えた「共和かかし祭」は大地の恵みと収穫に感謝する共和町の一大イベントとして、毎年８月中旬に役場庁舎裏の憩いの広場で開催されます。まつりには、町民手作りのユニークな案山子がずらり勢揃いし、かかしコンクールのほか、ばんば大会、かかしゲタ飛ばし大会、豊稔もちつき、芸能ショーなどが賑やかに催されます。

今年は全国各地から２日間で延べ約33,000人もの人で賑わいました。

個人の部グランプリかかし

かかし祭会場風景

【らいでんブランド】

岩内平野の肥沃な大地や恵まれた気候風土を生かし、江戸時代から米作りを手がけてきた共和町。いまや道内有数のお米の産地として定着しています。

また、らいでんスイカは道内一の生産量を誇り、糖度が高く、食感が良いことから消費者から人気が高い作物です。スイカのほかにも、メロンや大通公園のワゴンでも販売されているスイートコーンなども「らいでん」ブランドとして高い評価を受けています。

【農業近代化への取り組み】

スイカやメロンを割らずに糖度や品質を確認できる光センサーによる選別搬送システムを国内で初めて導入しました。

元気な農業を次世代へつなげるために、農業開発センターではスイカやメロンの品質比較試験や土壌分析など技術的な研究はもちろん、農業経営の研修会などや後継者育成にも取り組んでいます。

スイカ選果施設

【西村計雄記念美術館】

共和町出身の画家、西村計雄の油彩作品約5,300点を所蔵する美術館です。ピカソの画商カーンワイラー氏に認められパリを拠点に活躍した西村は、フランス国立近代美術館やパリ市美術館にも作品が収蔵される国際派。展示室ではさまざまなテーマで西村作品を紹介するほか、体験プログラムなども多彩に行われています。

西村計雄記念美術館外観

【四季あざやかな、神仙沼自然休養林】

神仙沼自然休養林はチセヌプリの北麓に位置し、ワタスゲ、チングルマ、エゾゼンテイカ、ヒオウギアヤメ、サワギキョウなど、高山植物や湿原植物が数多く見られるお花の名所です。なかでも初夏に雪の結晶のような花を咲かせるミツガシワは、町花に指定されています。

大沼

レストハウス

クリーン・グリーン輝く未来・笑顔あふれるまち ～中富良野町

中富良野町長　木　佐　剛　三

北星山ラベンダー園

【まちの概要】

本町は、東経142度、北緯43度と北海道のほぼ中央部にあって、東西に17.9km、南北に13.4km、面積108.7㎢で、雄峰十勝岳の山麓が東西に広がり、北は上富良野町、南は富良野市に接しています。気象は内陸性気候に属し、夏期は30度、冬期は－25度前後で、積雪は平野地で約１m。夏の寒暖の差が大きく農作物に適しており恵まれた気候風土となっています。

【沿革】

1895年（明治28年）に富山県人の入植により、本町の歴史は幕を開けました。その後も本州からの入植者が続き、未開の地は徐々に拓かれていきました。1917年（大正６年）には、上富良野村から分村し中富良野村として、さらに高度経済成長に合わせて1964年（昭和39年）には、町制施行より「中富良野町」として現在に至っています。

一方、基幹産業の農業では、水田から野菜や果樹栽培への転作が進んだほか、ラベンダー畑も広がりを見せ、観光地としても注目されるようになりました。

町営ラベンダー園

【北星山】

北星山はふるさと中富良野のシンボルともいえる存在となっています。この地は、本町への入植と同時に、原始林の伐開から始まり、大正６年に上富良野からの分村を機会に北星と名称を定め、当時は、えん麦、亜麻や果樹などを栽培していました。その後、稲作の定着と並行してカラマツ材生産のための造林が行われたことで、畑とカラマツ林が交互に織りなす現在のような景観の基礎が作られました。

また、戦前からスキー場としても親しまれ、冬季はスキーリフトとして、夏季には、観光リフトとして使用され、北星山から見下ろすラベンダー園や十勝岳の眺望などに多くの観光客が訪れています。

北星山から十勝岳連峰を望む

【イベント】

中富良野一体にラベンダーのやさしい香りが広がり、丘陵一面が美しい紫一色に染まる７月には「ラベンダーフェア」が開催されます。

なかでも、ラベンダーまつりのメインイベントとして、大小色とりどりの花火が夜空を華やかに彩り夏の風物詩にもなっています。
また、２月中旬には、北星山を会場に子どもから大人までが楽しめるゲームやスポーツを行うウィンターフェスティバルが開催され、真冬の寒さの中、元気いっぱいに冬を楽しんでいます。

ラベンダーフェアーの花火

ウインターフェステイバル

【「クリーン農業推進の町」宣言の農産物】

なかふらのクリーン米は、その味、品質とも全国的な評価を得ています。
その他、メロン、スイカ、アスパラガス、玉ねぎ、かぼちゃ等、まだまだたくさんの農産物がいっぱいあります。

田植え作業とお米

メロン

【純米酒「法螺吹」と吟醸酒「紫の雫」】

中富良野産米「ゆきひかり」から生まれた２種類の名酒。芳醇な味わいとまろやかな口当たりは中富良野の楽しいひと時を思い出させてくれます。

【なかふらのワイン「めぐみの白」と「かおりの赤」】

さわやかな風と緑の森が育てたセイベル種が原料の中富良野100％ワイン。フレッシュな口当たりと、すっきりとした中にもきめ細やかな喉越しは中富良野の食材と良く合います。

お酒

ワイン

【酒かすスイーツ】

純米酒「法螺吹」の酒かす100％を使用した「なかふらの酒かすスイーツ」は、中富良野町限定販売のスイーツです。
米アレルギーを起こしにくい「ゆきひかり」の酒かすを生地に混ぜた饅頭、クッキー・ケーキ・ドーナツは、ほんのりと甘酒のような香りが広がり、幅広い年齢層に向けた中富良野のお土産として人気を呼んでいます。

酒かすスイーツ

【ラベンダー製品】

「香りの中では人はやさしくなれる」をテーマに生み出された数々のラベンダー製品。
香水・石けん・入浴剤などラベンダーのさわやかでやさしい香りを、日々の生活にどうぞ

【チコリーコーヒー・チコリー玄米茶】

チコリーはその香りにリラクゼーション効果があると言われるハーブ。ノンカフェインでオリゴ糖が豊富なチコリーから抽出されたコーヒーと玄米茶は香り高い味わいで、心も体も安らぐひと時をお過ごしください。

現場からこんにちは

工事名称：札幌市障がい児・者施設改修ほか強電設備工事
発 注 者：札幌市都市局建築部電気設備課
請 負 者：協信電気工業株式会社
場　　所：札幌市豊平区平岸４条18丁目909－１ほか
工　　期：平成25年４月１日～平成26年３月25日
設計監理：株式会社真紀設備設計事務所

《工事概要》

・旧静療院（RC造、地上５階地下１階建、延べ面積6,570㎡）B棟・A棟・C棟改修
・ひまわり整肢園（S造、２階建、延べ面積530㎡）増築
・体育館（S造、平屋建、延べ面積260㎡）増築

《工種》

・受変電設備、幹線設備、動力設備、電灯設備、直流電源設備、避雷設備、太陽光発電設備

　この工事は、旧市立札幌病院静療院の精神科外来と一般閉鎖（身体合併症）病棟及び一般閉鎖（急性期）病棟の成人部門が市立札幌病院本院に統合されたことにより、空きスペースができた既存施設を耐震化を含め大規模改修し、障がい児や障がい者に向けた福祉と医療の複合施設として新増築を加えて再整備し、サービスの拡充を図るものです。

　複合施設の機能は、現地に残る児童心療センター（旧静療院児童部門）と札幌市児童福祉総合センター（中央区）にある発達医療センターを移転統合し、子どもの心と体の両面から診療できる医療機関を新設。さらに福祉機能として、児童発達支援センター（ひまわり整肢園、かしわ学園）、知的障害者更生相談所（まあち）を移転集約し複合施設化するものです。また、別途工事にて知的障害者生活介護事業所（第２かしわ学園）を、同一敷地内に新築します。

　施設施工は、８月より既設のA棟１階～３階とC棟１階を部分使用するため、当該箇所は短期間での施工となりました。４月の着手と同時に既設部分の確認調査を至急行い、綿密な作業計画と施工管理、且つ、急ピッチでの作業となりました。その間、B棟の施設が稼働しているため、施設利用者及び関係者の安全確保と騒音・振動等の影響が最小限になるよう考慮しながらの作業となりました。また、増築棟の電源は本院からの供給なので、電気室の改修時には停電工事となるため、当局と停電日などの工程打合せ・調整を慎重に行いました。

現場代理人　三木賢二さん・監理技術者　藤田敬太さん

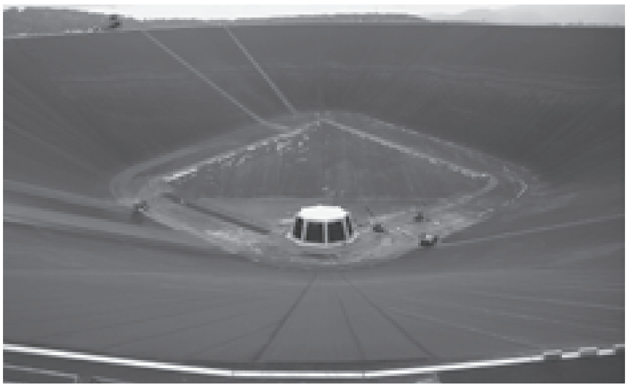
　８月末現在、B棟改修に取りかかっています。A・C棟の施設が稼働しているため、同様の配慮をしながらの施工となります。今後、増築棟では建築工程に合わせ、躯体工事、内装配管配線工事、機器取り付け、機器調整試験を行う予定で、２月上旬で施工を完了する予定です。

B棟　室内照明器具撤去状況

　来年３月の竣工に向けてこれからますますお忙しくなることと思われますが、無事故・無災害で市民皆様の役に立つ有益な施設が完成することを祈念しております。

取材　広報委員　菊　地　　　大（協信電気）
　　　　　　　　鈴　木　嵩　典（浅海電気）

電気設備施設見学会



上部調整池展望台から眼下に広がるダム

平成25年９月12日㈬会員企業の技術向上と最新設備の見聞を深めるため、毎年実施している見学会を今回は当協会と一般社団法人電気設備学会北海道支部との共同開催で実施した。

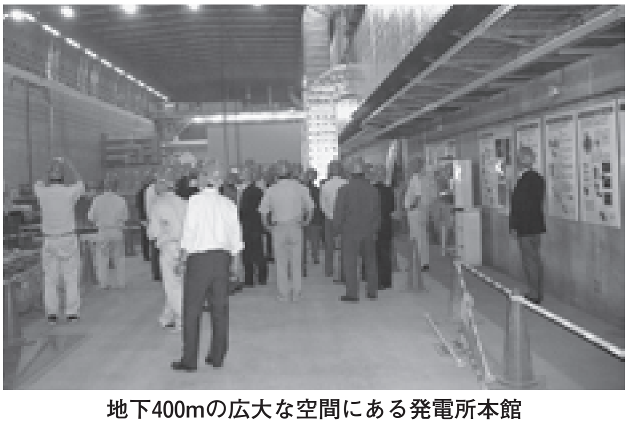
今回の見学現場は平成26年10月に営業運転開始に向けて工事を進めている北海道電力㈱京極水力発電所建設現場です。当施設は、札幌から西へ約70㎞の距離にある虻田郡京極町北部の台地にプール形式の上部調整池と京極町を流れる尻別川水系ペーペナイ川上流部に京極ダムを建設し、上部調整池から京極ダムまでの総落差約400mを利用して最大60万ｋｗの発電を行う、北海道で初めての純揚水式発電所です。

揚水発電の特徴は、電気の使用量が少なく、発電設備に余裕ができる夜間に下部調整池から上部調整池に水をくみ上げておき、使用量が多い昼間に上部調整池から水を落として発電する方式です。貯蔵できない電気を「水」という形に変えて貯蔵することができ、また、発電機を短時間で起動できるため、急激な電気の使用量変化に素早く対応できるという優れた特性を持っている発電所です。

当日は札幌駅北口に集合して９時45分に貸切バスで出発。途中、倶知安町で昼食後、京極水力発電所建設所に到着、同建設所の四家隆所長と電気第二課の岩越雄二副長がバスに同乗し、発電所の概要や現在までの進捗状況などの説明があった。

最初の見学施設は標高890mに位置する上部調整池で、展望台から眼下に巨大なすり鉢状のダムが建設工事中であった。設計・施工にあたっては、厳しい気象条件を考慮し、新型表面アスファルト遮断壁構造を採用している説明があった。

10月には、総貯水容量440万㎥の水が汲み上げられる状態まで完成していた。次の見学施設は発電所本館で、地下400mの所に位置する、高さ45.8m、幅24m、長さ141mの広大な地下空間で工事が進められていた。技術的な特徴として、揚水運転時に発電電動機の回転速度を変化させることで、揚水運転をしながら周波数調整ができる、可変速揚水発電システムを採用している説明があった。最後の見学施設は下部調整池で、展望台からの景色は、もうすぐ満水になると、この辺一帯すべて水の中になる説明を受け見学会を終了した。



地下400mの広大な空間にある発電所本館

わかり易く、丁寧に説明頂いた
四家隆　所長

厚生委員会行事報告

平成25年度　野球部会活動報告

会員の皆様、日頃より野球部会の活動にご協力をいただきまして有難うございます。

毎年恒例となりました会社対抗ソフトボール大会、本年度は８月29日㈭「つど～む」にて開催致いたしました。

・前年度優勝チームただ今５連覇中の「北弘電社チーム」
・選手の年齢層が高めかな？古豪「北海電気工事チーム」
・元気いっぱいの総監督率いる「橋本電気工事チーム」
・最強チームを目指し各社の精鋭が集まった「企業体チーム」

以上、４チームによるトーナメント方式で熱戦につぐ熱戦が繰り広げられました。

結果、緊張感高まる接戦を勝ち抜いた「北弘電社チーム」の優勝、６連覇おめでとうございました。

開会挨拶　嶋津博　厚生委員長

試合の様子

準優勝は惜しくも１点差に泣いた「企業体チーム」、３位は「北海電気工事チーム」、４位は「橋本電気工事チーム」でした。

各チームの皆様、本当にお疲れ様でした。白熱した試合、そして好プレーをありがとうございました。

本年度、活躍いただいた各チームの皆様はもちろんですが、まだまだ個人で参加したい方はいらっしゃると思いますので、ぜひ来年度の大会に参加いただき今大会以上の盛り上がりを見せていただけることを期待しております。

最後に、今大会も皆様のご協力によりケガもなく無事終えることができました事に、幹事一同深く感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

野球部会長　森崎　亨一

六連覇しました！！！

今年の参加会社は４チームで、参加会社が例年より少ない大会となりましたが、まずは北弘電社チームとして優勝でき、六連覇を果たせた事を大変嬉しく思います。

私自身、このソフトボール大会への参加は今年で三回目でした。野球経験者という事もあり、打席では打って当たり前というプレッシャーと戦いつつプレーしております。

今年もそのプレッシャーに負け一試合目の橋本電気工事さんとの試合では、見事に凡打の山を築いてしまいました…

ただ、なんとか決勝では一試合目の反省も生かし、挽回のヒットでチームの勝利に貢献出来たのではないかと思います、危うく来年からは戦力外にもなるところでした。

試合自体も計二試合どちらも僅差の攻防で緊張感のある試合となり、橋本電気工事さん、JVチームさんは例年よりも強い印象（大変失礼ですが…）を受けました。

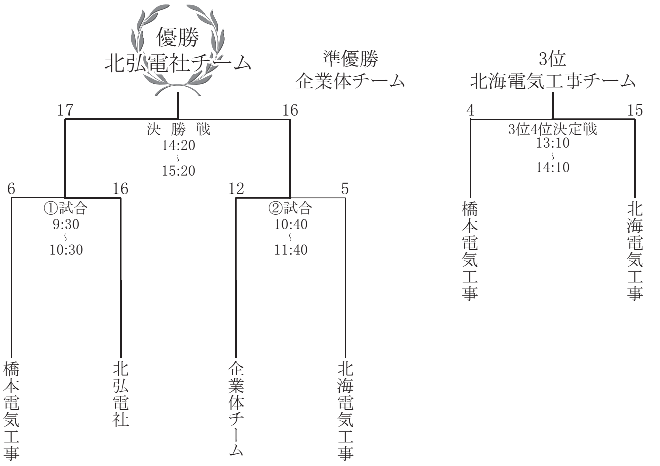
また、会社の方々にもご協力を頂き、ユニフォームやバットの提供、応援にも駆けつけて頂きまして感謝をしております。

今年は、どこの企業も忙しいみたいで参加チームが少なかったのですが、来年度は参加チームを増やして、盛大なソフトボール大会にしていただきたいです。

まだ先は遠いですが十連覇を夢みながら日々の仕事も打ち込んでいこうと思います。

㈱北弘電社　宮崎　大地

成　績　表



優勝　北弘電社チーム

準優勝　企業体チーム

平成25年度第１回・第２回開催ボウリング部会報告

第１回大会　スタート前

６月28日㈮平成25年度ボウリング部会の開幕戦がディノスノルベサ会場において執り行われました。今回の参加者は19名、例年よりは若干少ない様にも感じますが、いつもの様に活気あふれる熱い戦いが繰り広げられました。

第１回を制したのは…橋本電気工事・細野（私です）が最高のハンディをフルに活かし初優勝を飾らせて頂きました。参加者からは賛否両論!?でしたが私には賞賛の声に聞こえました。準優勝には北弘電社の十日市さんが、続いて１位には北弘電社の内川さんがハイゲーム賞（192ピン）と合わせて受賞しました。その他にも大波小波賞等各賞の発表に合わせて、熱い体をビールで冷やしながら楽しい時間を過ごしました。

また今回は久し振りにボウリング大会へ参加してくださった日本電設さんやユアテックさん等、新しい顔触れも増え第１回から盛り上がるボウリング部会となりました。

御参加の皆さんに尽きましては、ご多忙の中本当にありがとうございました。

今回から部会長が関場さんから小原木さんに替わり幹事メンバーも私を含め新メンバーとなりました。

次回からもより多くの皆様に参加して頂けるよう心掛けてまいりますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。

ボウリング部会幹事
細野　隆平（橋本電気工事㈱）

ボウリング部会　関場前部会長から　ひとこと

平素は当部会の活動にご協力いただきありがとうございます。

ここ数年の参加者は、これから当協会を担う若手が多く、ボウリング会場での熱気はもとより、表彰式での盛り上がりには力強いエネルギーを感じます。

さて、私も泉前部会長より引き継いで早や15年が経過しました。

会員の皆様には、何かとお世話になり心より御礼申し上げます。

今年度からは、小原木新部会長のもとで活動してまいります。

今後とも、多くの皆様の参加により親睦を深めて、楽しいボウリング部会にして頂きたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

ボウリング部会　前部会長　関場　憲明
（安達電設㈱代表取締役）

平成25年度第１回
北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成25年６月28日開催

順位	氏　　名	1Ｇ	2Ｇ	1Gハンデ	トータル	会　社　名
優	細　野　隆　平	115	144	67	393	橋本電気工事
準	十日市　　樹	133	168	36	373	北　弘　電　社
1	内　川　勝　哉	192	139	12	355	北　弘　電　社
2	池　内　宏　行	134	132	40	346	北明電気工業
3	尾　形　武　志	145	145	24	338	ド　ウ　デ　ン
4	大　塚　雅　史	144	112	40	336	北　盛　電　設
5	藤　井　大　樹	117	124	45	331	で　ん　こ　う
6	小原木　正　弘	141	154	17	329	弘　和　電　気
7	長谷川　政　幸	133	156	16	321	北海道タツヲ電気
8	清　水　希与志	92	110	59	320	北明電気工業
9	伊　藤　寿　教	88	97	66	317	三共電気工業
10	木　村　賢　史	117	134	32	315	北海道タツヲ電気
（ハイゲーム賞）192ピン	内川　勝哉					北　弘　電　社
（大波賞）51ピン	阿保　大陸					末廣屋電機
（小波賞）２ピン	大沼　　辰					日　本　電　設
（ラッキー賞）10位	木村　賢史					北海道タツヲ電気
（ブービー賞）	深谷　耕二					ユ ア テ ッ ク
（ブービーメーカー賞）	多田　淳也					末廣屋電機

平成25年度第２回
北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成25年８月23日開催

順位	氏　　名	1Ｇ	2Ｇ	1Gハンデ	トータル	会　社　名
優	福　田　哲　也	117	157	47	368	大　成　電　気
準	嶋　津　　博	135	146	38	357	島　津　電　設
1	森　崎　亨　一	144	168	14	340	北　盛　電　設
2	畑　　澄　人	107	157	37	338	北海道タツヲ電気
3	阿　保　大　陸	107	167	28	330	末廣屋電機
4	大　沼　　辰	117	155	25	322	日本電設工業
5	小原木　正　弘	146	131	22	321	弘　和　電　気
6	内　田　勝　久	78	121	60	319	北海電気工事
7	木　村　賢　史	122	129	32	315	北海道タツヲ電気
8	佐　口　紀　浩	113	129	34	310	日本電設工業
9	尾　形　武　志	144	125	16	301	ド　ウ　デ　ン
10	管　井　末　行	130	127	21	299	旭日電気工業
（ハイゲーム賞）168ピン	森崎　亨一					北　盛　電　設
（小波賞）３ピン	管井　末行					旭　日　電　気
（大波賞）46ピン	十日市　樹					北　弘　電　社
（ラッキー賞）８位	佐口　紀浩					日本電設工業
（ブービー賞）	内川　勝哉					北　弘　電　社
（ブービーメーカー賞）	細野　隆平					橋　本　電　気

第１回優勝者　細野さん（右）

第２回優勝者　福田さん（右）

平成25年度　第３回・第４回ゴルフ部会コンペ成績

第４回スタート前

第３回例会 平成25年７月25日(木) 札幌エルムCC 参加者28名

順　位	氏　名	会　社　名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優　勝	枝並　秀喜	電業協会	43	40	83	10	73
準優勝	三井　　尚	北明電気	47	44	91	18	73
３　位	山口　　勉	山口電気	45	48	93	18	75
４　位	小林　勇治	三共電気	50	45	95	20	75
５　位	滝沢　英美	サンテック	52	49	101	26	75
６　位	佐久間忠信	北明電気	41	40	81	5	76
７　位	松本　一雄	日本電設	45	44	89	12	77
８　位	滝澤　秀樹	滝沢電気	54	53	107	30	77
９　位	住本　邦裕	タツタ電気	41	44	85	6	79
10　位	山口　邦治	山口電気	50	52	102	23	79

（特別賞）
Ｂ　　Ｇ　佐久間忠信（北明電気）
大　波　賞　中川　　渉（道ジーエス·ユアサ）
小　波　賞　松本　一雄（日本電設）
Ｂ　Ｂ　賞　岡田　眞嗣（きんでん）
Ｎ　　Ｐ　枝並　秀喜（電業協会）
Ｎ　　Ｐ　山口　　勉（山口電気）
Ｎ　　Ｐ　小林　勇治（三共電気）
Ｎ　　Ｐ　松本　一雄（日本電設）
Ｎ　　Ｐ　山口　邦治（山口電気）
Ｎ　　Ｐ　中村　淳一（北海電気）

第３回優勝者　枝並さん（右）

第４回例会 平成25年８月21日(水) 羊ヶ丘カントリー 参加者30名

順　位	氏　名	会　社　名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優　勝	川喜田邦夫	能美防災	44	52	96	28	68
準優勝	笠島　龍宏	北海電気	45	42	87	18	69
３　位	枝並　秀喜	電業協会	40	38	78	8	70
４　位	庄田　修身	データ電建	48	44	92	20	72
５　位	松原　一朗	北明電気	39	40	79	5	74
６　位	矢田　　彰	北弘電社	43	39	82	8	74
７　位	住本　邦裕	タツヲ電気	43	39	82	6	76
８　位	浦本　泰男	振興電気	46	47	93	18	75
９　位	木村　賢史	タツヲ電気	52	49	101	26	75
10　位	小野寺涼一	大成電気	45	41	86	9	77

（特別賞）
Ｂ　　Ｇ　枝並　秀喜（電業協会）
大　波　賞　小林　勇治（三共電気）
小　波　賞　荒川　正一（札幌日信）
Ｂ　Ｂ　賞　橋本　佳明（橋本電気）
Ｎ　　Ｐ　枝並　秀喜（電業協会）
Ｎ　　Ｐ　笠島　龍宏（北海電気）
Ｎ　　Ｐ　住本　邦裕（タツヲ電気）
Ｎ　　Ｐ　小野寺涼一（大成電気）
Ｎ　　Ｐ　三井　　尚（北明電気）×２本
Ｎ　　Ｐ　斉藤　克人（きんでん）
Ｎ　　Ｐ　稲津　　亘（北盛電設）

第４回優勝者　川喜田さん（右）

～シリーズ～「私のいちおし」

三共電気工業㈱
代表取締役社長　萩　本　哲　夫

店主の安田哲也さんと

今回の「私のいちおし」は、おでん屋さんです。おでん屋というと、ややもすると大根・玉子などが大皿に盛られ、皆でつまむ、そんな光景が想像されます。今回紹介する「文次郎」さんは、おでんがメインですが、少し雰囲気が違います。

まず、注文に応じ、一品ずつ小皿に盛られて出てきます。ベースはおでん鍋で下味をつけますが、品によっては別の鍋で味を強くしたり、それに合う調味料を乗っけたり、色々な品を楽しめる仕組みになっています。

「雪菜」「牛すじ」「豚ばら」「辛子蓮根」といった、あまりおでんで見ない品もおいしいです。

また、関西風で少し薄味と感じる人がいるかもしれません。しかし、お酒を飲みながら選びながら注文すると、飽きずに楽しめます。おでん以外にも、数品肴があり、例えば取材の日は鱧（はも）の湯引きを梅肉とわさびで食べさせてくれましたが、絶品。アルコールはどうしても冷酒になりがちですが、６種類くらい用意されており、つい飲みすぎそう。いいころ加減で、締めはうどんか、本日のごはん（取材日は高菜ごはん）。

店は、カウンターで最大10席の作り。岡山出身の安田さんご夫婦が柔らかい笑顔で応対してくれます。場所は、少しすすきから外れており、２～３名位でのんびり飲むのに適しています。一人当

入り口にある　控えめな看板

カウンターであつあつおでんに満足

たりの単価は、６千円程度で冷酒を飲みすぎると、もう少しかかりますが、満足度は十分と思います。

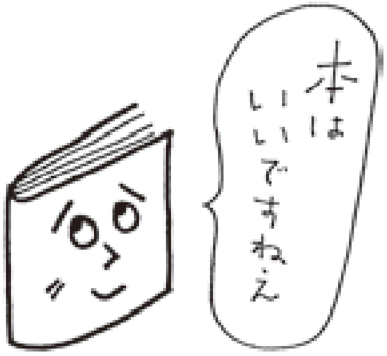
なお、昼はランチだけやっています。あっさりした醤油ラーメンに、本日のごはん、小鉢、お漬物ですが、こちらは600円とお安くなっています。

おすすめランチ

店　　名　四季の味　文次郎
住　　所　札幌市中央区南３条西８丁目
　　　　　大洋ビル２Ｆ
電　　話　（011）281－6557
営業時間　昼　11時30分～13時30分
　　　　　（火～土・らーめんのみ）
　　　　　夜　17時30分～24時
定 休 日　月曜日

次回の「私のいちおし」は
㈱関電工　北海道支店
営業推進役　樋口　雄一　さんです。

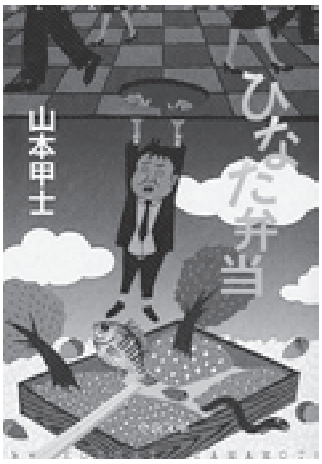
ビジネスマンはこれを読め！



㈱久住書房　社長　久　住　邦　晴

「なぜだ?!売れない文庫本」をはじめ、全国の書店に波及した「本屋のオヤジのおせっかい、中学生はこれを読め！」など独創的な企画で注目を集める、くすみ書房社長の久住邦晴氏（北海道書店商業組合理事長）おすすめの一冊をご紹介します。

「ひなた弁当」



「人生っていいものですよ！」

著　者：山本甲士
出版社：中央文庫
定　価：660円

以前ご紹介した「ひろいもの」。お読みになりましたか？人生はいくらでもやり直しがきくんだと思える希望の湧く小説でした。

そして同じ著者のこの本もすばらしい本です。50才を目前にリストラされた良郎。妻や娘からもとっくに愛想をつかされていた。更に妻はリストラされたことを隣近所に知られたくないし、受験を控えた娘にも言わないでと言われ、仕方なく毎日スーツを着て出勤しているふりをしている。持病の腰痛もどんどん悪くなる一方で、ほとほといやになっていた。「つまらない人生だ」と。

そんなある日、良郎はふと立寄った公園でドングリを拾った。確か食べられるはずだと思い調べてみると、いろいろな調理法が紹介されていた。家でこっそり調理して食べてみると思いのほかうまかった。次々と口に入れているうちに急に笑いがこみあげてきた。失業したって収入がなくなったってドングリがあれば飢え死にしないと思ったのだ。そういえばギンナンだってヨモギだってある。

ガイドブックで調べてみると秋に食べられる野草がたくさん載っていた。タンポポ、ミツバ、フキ、ノビル、キクイモなどを採って食べてみると、いける。良郎は毎日たくさん採集し、調理法もいろいろ試してみた。

その日も川の土手で野草を探していた。川では釣りをしている人がいた。オイカワを釣っていて、食べても旨いという。ただで手に入る食材がまだあった。マブナ、ヘラブナ、ブラックバス、ナマズにウナギも獲れるという。釣り人に釣りの手ほどきを受けている時突然、全身に電流が走った。…そうだ、弁当屋というのはどうだろうか。

さて、このあとは……。

みんなが幸せな気分になるすばらしい小説です。「人生っていいものですよ！」

業界だより

○会員代表者の変更

・㈱関電工北海道支店　平成25年７月１日付
（新）支店長　太刀川雅弘
（旧）　〃　樋口　雄一

・サンワコムシスエンジニアリング㈱北海道支店
平成25年７月１日付
（新）支社長　大竹　央典
（旧）　〃　宮井　直樹

理事会・委員会報告

理　事　会

◇平成25年８月26日㈪　12：00～13：30

第３回議題

【協　議　事　項】

１．平成25年度経営者懇談会・セミナー開催概要（案）について
２．北海道設備設計事務所協会創立30周年記念式典及び祝賀会の出席について

【報　告　事　項】

１．第250回電設協政策委員会の概要報告について
２．平成25年度電気設備施設見学会の開催（案）について
３．平成25年度会員大会開催の開催について
４．本部・支部事務連絡会議の概要報告について
５．技術系学校先生・生徒との現場見学会及び懇談会の概要について
６．北海道の建築工事に係る合同研修会の概要報告について
７．会社代表者、法人職務執行者等の変更について
８．平成25年８月～10月行事予定について
９．その他　意見交換

三　役　会

◇平成25年７月８日㈪　12：00～13：30

第４回議題

１．平成25年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の記念事業における後援名義使用依頼並びに「公共建築の日」フェスティバル2013 inモエレに対する協力依頼について
２．北海道の建築工事に係る合同研修会の要望事項について
３．社会保険未加入対策の推進等に関する説明会の概要報告
４．会社代表者、法人職務執行者等の変更
５．平成25年７月～８月行事予定について
６．その他意見交換

◇平成25年８月５日㈪　12：00～13：30

第５回議題

１．平成25年度経営者懇談会・セミナー開催概要（案）
２．平成25年度電気設備施設見学会の開催（案）
３．本部第250回政策委員会の概要報告
４．本部・支部事務連絡会議の概要報告
５．北海道の建築工事に係る合同研修会の概要報告
６．技術系学校先生・生徒との現場見学会及び懇談会の概要について
７．平成25年度会員大会開催の開催
８．平成24年度登録電気工事基幹技能者特例講習

会の開催
9．平成25年８月～９月行事予定
10．その他意見交換

◇平成25年９月９日㈪　12：00～13：30

第６回議題

1．本部第250回政策委員会の報告
2．北海道開発局と電気・空衛両協会との意見交換会
3．平成25年度経営者懇談会・セミナー開催要領（案）
4．「公共建築の日」フェスティバル2013inモエレのイベントの協力依頼
5．平成25年度９月～10月行事予定
6．その他意見交換

経営委員会

◇平成25年７月23日㈫　12：00～13：00

第２回議題

1．第１回議事録（案）の承認
2．本部第250回政策委員会の開催概要
3．平成25年度北海道の建築工事に係る合同研修会の開催概要
4．社会保険未加入対策推進北海道地方協議会の開催概要
5．平成25年度分離発注状況調査報告
6．本部・支部事務連絡会議開催概要
7．その他意見交換

広報委員会

◇平成25年９月18日㈬　15：00～17：00

第２回議題

1．新春特集
2．会報「冬号」編集方針
3．会報「秋号」校正
4．その他意見交換

事務局日誌

7月5日㈮・社会保険未加入対策等の推進に関する説明会
（第一合同庁舎）小川専務

8日㈪・第4回三役会議

12日㈮・本部250回政策委員会
（東京）山口副会長

19日㈮・本部、支部事務局長会議
（東京）小川専務理事

22日㈪・北海道の電気関係4団体との建築工事に関わる合同研修会
（電気会館大ホール）

23日㈫・第2回経営委員会

24日㈬・本部常任理事会（東京）
大房支部長

・札幌市電気設備施工研修会
（電気会館大ホール）

25日㈭・第3回ゴルフ部会
（エルムカントリー）

26日㈮・技術系学校先生との現場見学・懇談会

8月1日㈭・技術系学校学生との現場見学

5日㈪・第5回三役会議

21日㈬・第4回ゴルフ部会
（羊ヶ丘カントリー）

23日㈮・第2回ボウリング部会
（ディノスノルベサ）

26日㈪・第3回理事会

29日㈭・会社対抗ソフトボール大会

30日㈮・歌唱部会

9月2日㈪・１級実地受験準備講習会
（セントラル札幌北ビル）

9日㈪・第6回三役会議

18日㈬・第2回広報委員会

19日㈭・本部運営委員会（東京）
大房支部長

20日㈮・野球部会
営業マンソフト
（リゾート札幌）

25日㈬・本部251回政策委員会
（東京）山口副会長

・第5回ゴルフ部会
（芙蓉カントリー）

編集後記

この度は、北海道建設部建築局建築整備課、設備・環境担当課長の安藤様に「より安全で環境に配慮した公共建築物の整備」と題する巻頭言をいただきありがとうございました。災害に強い施設の建設及び環境に対する取り組みのため、一層ご尽力戴きますことをお願い申し上げます。併せて、当協会に対しまして、引き続きご指導、ご鞭撻を戴きたいと思います。

さて、“異常気象”、“異常気象”と叫ばれておりますが、いつの間にか、これが「通常の気象」とでもなってしまうのでしょうか？スポーツ界での「日本新記録」達成には“拍手喝采”となりますが、土佐四万十市での「41.0℃」の“日本新記録”にはただ唖然とするばかりです。健康な人の「体温計」はどのような値を表示するのでしょうか？ここ北海道に於いてさえ“熱中症”にかからぬよう、水分補給には十分配慮した今夏でありました。また､「ゲリラ豪雨」という語句は“本州特有のもの”と思っておりましたが、北海道でも使われ始め、過去の常識・経験が通用しない昨今の気象状況でもあります。

「春夏秋冬」という四季の変化を特徴にもつ「日本」は、温帯から亜熱帯へと、更に「北海道」は亜寒帯から温帯へと「気候区分変動」が既におきてしまった感もあります。夏が過ぎ、短い秋を通り過ぎて､“一気に冬に突入”ということになってしまいそうです。

広報副委員長　小笠原　憲生

一般社団法人　北海道電業協会活動スローガン

１．優秀な人材の確保と技術・技能の継承を促進し、魅力ある職場作りで将来の電設業界の担い手を育てよう

２．適切な価格・適正な工期での受注を確保し、優良な施工体制と品質で、健全で公正な競争市場を構築しょう

３．品質と価格の透明性を確保するとともに、顧客に最高品質の工事を提供するため、分離発注を強力に推進しよう

４．省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組み、スマート社会の実現に貢献しよう

発行　平成25年10月
一般社団法人　北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL（011）271-2932
FAX（011）271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp